

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	573 登記事務事業					
予算科目	01-080101-13			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	道路用地係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	不動産登記法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民等
目的	道路拡幅業務に伴う用地買収、未登記処理等の様々な登記を行う。
概要 (取組内容)	取得した道路用地の登記処理（分筆、所有権移転、地目変更等）を行う。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	9,207	7,909	8,937	
	決算額	(千円)	8,911	6,550	7,225	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	8,911	6,550	7,225	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	29,047	4,233	4,824	6,800	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	4.00	0.60	0.70	1.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	330.00	66.00	25.90	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	嘱託登記申請数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	488.0	507.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	分筆・所有権移転・その他登記の申請数の合計とする。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	計画的に道路用地買収を行った。 研修等の参加は、コロナウィルスの影響で、参加できなかった。
成果	工事施工前に、用地の取得及び補償の履行を行い遅滞なく工事に着手する状況を提供できた。 未登記案件を適正に処理した。
課題	業務 買収前、買収予定地に対しより緻密な調査が必要である。 用地取得・補償から、登記まで、幅広い知識の習得に努める。
	組織、予算等 委託料は未登記案件の処理予算として妥当と思われる。 賃借の買収に努める。
改善目標	研修等の積極的な参加。 未登記案件の整理を進める。 賃借契約地の買収に努める。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	578 道路新設改良事業					
予算科目	01-080202-11			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	工務係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路法 等			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民等
目的	未改良の生活道路を改良し、道路としての機能を高め、道路網の整備を図ることにより市域の土地利用、経済活動を活性化し、地域社会の環境を改善する。
概要 (取組内容)	地元要望を踏まえ、一定の基準の下に必要性を評価し、生活道路の整備を行う。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	1,334,242	827,955	1,127,590	
	決算額	(千円)	1,006,510	906,144	815,514	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	123,468	223,414	213,094	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	882,537	682,730	602,420	0	0
	その他	(千円)	505	0	0	0	0	
人件費	人件費計	(千円)	17,848	22,319	42,875	42,158	33,998	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.25	3.00	6.00	6.20	5.00
		正職員時間外勤務	(時間)	793.00	800.00	845.60	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	市道の改良率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	58.7	59.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	市道の総延長に対し、道路の規格を改良した割合					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	計画的に予算計上したが新型コロナウイルス感染症拡大目的とした事業計画の見直し等による減額補正により一部対応出来なかった。	
成果	計画的に改良整備を実施することにより、安全で円滑な交通を確保することができた。	
課題	業務	生活道路は住民の生活に密着しており、整備に対する地元からの要望が非常に多いことから、市民の声を反映しつつ計画的・効率的に整備を行うことが必要とされる。
	組織、予算等	特になし
改善目標	道路整備の優先順位に基づき、測量設計・用地買収・工事を計画的に進める。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	579 緊急地方道整備事業					
予算科目	01-080203-11			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	工務係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路法等			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民等
目的	地域住民より強い延伸要望があり、延伸整備により交通分散化を図り通学者及び地域住民の安全を確保するため。
概要 (取組内容)	現一級幹線市道を一般県道館野牛久線から国道408号まで延伸整備する事業である。 ・市道1-71号線整備事業 L=852m

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	107,801	44,726	55,695	
	決算額	(千円)	191,683	102,439	39,498	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	75,866	45,890	30,997	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	115,817	56,549	8,501	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	18,801	23,304	3,541	4,080	13,600	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.25	3.00	0.50	0.60	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	1,177.00	1,200.00	57.30	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	改良整備率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	60.0	60.0	60.0	70.0	90.0	100.0
	実績	58.0	58.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	市道1-71号線の総延長に対し改良した割合						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	前年度は補助割れしたため計画していた工事を実施出来なかったが、転落防止柵設置工事を実施した。	
成果	転落防止柵を設置したことにより通行者の安全を確保できた。	
課題	業務	地域住民の利便性向上を図るため、計画的に整備し早期供用開始を目指す必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	年次計画に基づき整備を進め、早期全線供用開始を目指す。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。(未達成)
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	580 河川整備事業					
予算科目	01-080301-12			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	工務係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	河川法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民等
目的	台風・大雨等による河川の氾濫、土砂崩れを最小限に食い止め、適切な防災対策を行い、住民被害の軽減を図る。
概要 (取組内容)	集中豪雨、台風等に際し、八幡川の洪水や安全性を向上させるため、護岸等の整備を進める。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	216,325	130,894	107,200	
	決算額	(千円)	70,455	37,441	71,344	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	19,355	10,741	22,944	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	51,100	21,400	48,400	0	0
	その他	(千円)	0	5,300	0	0	0	
人件費	人件費計	(千円)	8,001	12,241	3,609	3,400	11,900	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.75	0.50	0.50	1.75
		正職員時間外勤務	(時間)	380.00	150.00	84.80	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	河川の改修整備率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	10.0	20.0	30.0	50.0	60.0	80.0
	実績	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	八幡川河川の未改修区間の整備率						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和元年度からの繰越により未改修区間の最下流から工事を実施した。	
成果	改修工事を実施することにより、河川の氾濫や増水に対する安全性を高めた。	
課題	業務	近年の異常気象等による河川の氾濫や増水により護岸の破損等が懸念される状況にあるため、早急に対応する必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	年次計画を元に順次下流から計画的に実施する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。(未達成)
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	582 街路整備事業					
予算科目	01-080402-11			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約	45			係名	街路係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民等
目的	市民が快適で安全・安心を実感できるような都市基盤の整備を図る。
概要 (取組内容)	都市再生整備計画に基づき、街路灯整備及び歩道改修を実施している。また、防災安全交付金事業による通学路整備として、歩行者通行帯及び自転車レーン整備を実施するとともに、無電柱化整備として電線共同溝の整備を進めている。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	644,607	679,517	401,967	
	決算額	(千円)	200,949	353,771	434,504	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	11,857	89,631	29,929	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	189,092	264,140	404,575	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	17,892	20,779	14,892	12,240	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.25	2.90	2.10	1.80	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	811.00	450.00	248.90	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	街路灯設置工事の整備延長 (m)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	921.0	1,836.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	1,387.6	1,467.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	側溝入替工事の整備延長 ()					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,626.0	604.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	696.2	931.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	自転車通行帯整備工事の整備延長 ()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	1,723.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	通学路通行帯の整備については、教育局所管のつくば市通学路安全推進会議において、現状、課題等を報告した。また、街路灯設置にあたり整備路線の関係機関との協議・調整により円滑に工事を進めることができた。					
成果	安全安心な住環境及び交通環境の整備のため、街路灯の設置及び歩道の改修を実施し、歩行者等の安全を確保することができた。					
課題	業務	計画路線に対する街路灯整備が令和3年度に完了予定となるが、計画に含まれていない路線への設置要望があることから今後、検討が必要である。また歩行者通行帯整備は「通学路交通安全プログラム」に位置付けされた路線の計画的な整備が必要。				
	組織、予算等	今後の新たな街路灯整備は、関係各課等での検討により策定された計画において、位置付けされた路線を整備する必要がある。				
改善目標	新たな街路灯設置は、整備路線への設置の根拠となる計画等を関係各課が検討し、策定されてから進める必要がある。なお街路灯設置は、既存樹木を残して照度を確保する方針で進める。歩行者通行帯整備は「通学路交通安全プログラム」の掲載路線を重点的に整備する。					

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。(未達成)
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	584 上河原崎・中西地区スマートIC設置事業（（仮称）つくばスマートIC）					
予算科目	01-080412-11			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	事業調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	期間限定複数年度	
根拠法令等	道路法等			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民等
目的	つくばエクスプレス沿線開発の土地区画整理事業を含む地域の活性化、つくば市整備地域における企業活動の活性化、高速道路利用圏域の拡大、観光振興の支援及び災害時における防災機能の強化を図る。
概要 (取組内容)	（仮称）つくばスマートICはH29年度、国の新規事業化箇所を選定後、東日本高速道路（株）と基本協定を締結し、測量設計業務等を推進してきた。今後、用地買収及び工事を予定しており、早期の供用開始を目指す。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	383,526	275,761	169,000	
	決算額	(千円)	23,125	102,708	116,220	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,287	5,644	162	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	21,838	88,661	108,284	0	0
		その他	(千円)	0	8,403	7,774	0	0
人件費	人件費計	(千円)	15,820	17,664	20,140	14,280	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.00	2.35	2.90	2.10	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	687.00	700.00	171.40	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

指標名	事業進捗率 (%)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績	16.6	31.2	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	市の負担する計画時点の事業費に対し、支出した割合 事業費795,600千円（支出額 H29：6,481千円、H30：23,125千円、R1：102,493千円、R2：116,220千円）					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	県、NEXCO、つくば市の三者で交わした確認書について解釈の相違が市・NEXCO間で生じていることから、協議を重ねた。 交渉が難航している地権者に関して、粘り強く交渉を進めた。
成果	本事業の地権者12者中9者について、買収又は合意を得ることができた。
課題	業務 区画整理地（茨城県）の取得に係る、残地の取り扱い協議が難航している。 前年度に引き続き、確認書の解釈相違に係る市・NEXCO間の協議が難航している。 交渉が難航している地権者との合意形成
	組織、予算等 区画整理事業用地の取得及び建設が具体的に進むことに伴い、今後、必要となる予算が増加する。
改善目標	茨城県や、NEXCOと協議が難航している課題については、市の事業費圧縮に繋がる方向で、今後も協議を重ねて行く。 交渉が難航している地権者に関して、粘り強く交渉を進める。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。（未達成）
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	区画整理事業用地の取得及び建設が具体的に進むことから事業費は拡充となる。

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	980 橋梁長寿命化修繕・耐震補強事業					
予算科目	01-080201-12			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	街路係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路法等			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民等
目的	老朽化した橋梁について、橋梁長寿命化計画に基づく長寿命化修繕等を実施することにより、市民が快適で安全・安心を実感できるような都市基盤の整備を図る。
概要 (取組内容)	橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁の修繕・補修工事を実施するとともに、阪神淡路大震災以前の耐震基準の橋梁に対し、耐震補強工事を実施する。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	257,264	150,491	342,761	
	決算額	(千円)	0	21,961	202,660	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	2,384	13,026	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	19,577	189,634	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0	0	
人件費	人件費計	(千円)	0	13,709	9,162	12,240	11,900	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	1.90	1.30	1.80	1.75
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	333.29	131.10	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	整備橋梁数 (橋)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	3.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	長寿命化修繕工事若しくは耐震補強工事が完了した橋梁数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	跨道橋の長寿命化、耐震補強事業の工事委託について、NEXCOに打診したが令和3年度は他自治体の工事を請けているとの理由により不調となったが、今後も前年同様に工事委託の打診を進めていく。
成果	長寿命化修繕計画に基づき、堂免橋及び中貫橋の工事に着手し、渇水期内の完成予定で進めることができた。また、常磐自動車道跨道橋（大日橋、御城橋）の耐震補強事業が完了したことにより、車両及び歩行者の安全な通行を確保することができた。
課題	<p>業務 河川橋は、渇水期施工のため、適正工期の確保。 常磐自動車道跨道橋は、耐震性能の基準を満たすため、補強等の実施が必要であり、当該工事は高速道路管理者であるNEXCOへの委託（協定）が必要。</p> <p>組織、予算等 現在の長寿命化修繕計画では、つくば市が管理するすべての橋梁が対象となるため、今後、経年劣化により修繕が必要な橋梁数が増加の見込みである。</p>
改善目標	河川橋の補修は、発注時期を早めることで適正工期を確保し、常磐自動車道跨道橋の耐震補強は車線規制や他工事間調整が円滑に行えるNEXCOへの発注が必要のため、調整を密に進めていく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。（未達成）
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	—